

安全データシート

QuickFold™ Protein Refolding Kit

作成改訂日：2025.05.26

文書整理番号：SDM23101-1-J

1. 化学品及び会社情報

製品等のコード MD1-28

化学品の名称 : QuickFold™ Protein Refolding Kit

供給者情報

会社名 : Molecular Dimensions Limited
Calibre Scientific UK
Unit 5A, R-Evolution@ The Advanced Manufacturing Park
Selden Way, Rotherham S60 5XA
United Kingdom
: www.calibrescientific.com

電話番号 : +44-(0)-11422-42257

メールアドレス : enquiries@moleculardimensions.com

日本総販売元

会社名 ワケンビーテック株式会社 企画推進部
〒562-0035
大阪府箕面市船場東 3 丁目 6-62 Semba LS ビル 3F
: <https://www.wakenbtech.co.jp/>

電話番号 : 072-749-5300

メールアドレス : info@wakenbtech.co.jp

緊急連絡電話番号 : UK 999 (消防、救急車、警察)
日本 0120-749-810 (消防・救急車:119、警察:110)

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

火薬類	: 区分外
可燃性/引火性ガス	: 区分外
引火性液体	: 区分外
引火性個体	: 区分外
自己反応性化学品/有機過酸化物	: 区分外
自然発火性液体/固体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
水反応可燃性化学品	: 区分外
支燃性/酸化性ガス	: 区分外
酸化性液体/固体	: 区分外
高压ガス	: 区分外
金属腐食性	: 区分外
急性毒性（経口）	: 区分 1
急性毒性（吸入）	: 区分 1
急性毒性（経皮）	: 区分 1
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は 眼刺激性	: 区分 1
呼吸器感作性	: 区分外
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 区分外
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	: 区分 3
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	: 区分 2

吸引性呼吸器有害性	: 区分外
水生環境有害性（急性）	: 区分 3
水生環境有害性（長期間）	: 区分 1

GHS 表示

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

:

H300 飲み込むと生命に危険
H302 飲み込むと有害
H310 皮膚に接触すると生命に危険
H312 皮膚に接触すると有害
H315 皮膚刺激
H318 重篤な眼の損傷
H319 強い眼刺激
H330 吸入すると生命に危険
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H373 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ
H402 水生生物に有害
H410 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

: 安全対策 :

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P262 眼、皮膚、衣類につけないこと。
P263 妊娠中/授乳期中は接触を避けること。
P264 取扱い後は、手をよく洗うこと。
P270 この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P273 環境への放出をさけること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P281 指定された個人用保護具を使用すること。
P284 呼吸用保護具を着用すること。

応急措置：

P301+P312+P330 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

P302+P352 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

P304+P340+P310 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息されること。直ちに医師に連絡すること。

P304+P340+P312 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息されること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

P305+P351+P338 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断/手当てを受けること。

P314 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

P337+P313 眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受けること。

P391 漏出物を回収すること。

保管：

P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P405 施錠して保管すること。

廃棄：

P501 内容物を都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非常事態の概要 : データなし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分

化学名	CAS 番号	EC 番号	化審法番号	分子量 (g/mol)	濃度
塩化カルシウム 2 水和物	10035-04-8	600-075-5	-	147.01	2mM

Calcium chloride dihydrate					
DL-ジチオトレイトール DL-Dithiothreitol	3483-12-3	222-468-7	-	154.25	1mM 100%
DL-アルギニン塩酸塩 DL-Arginine hydrochloride	32042-43-6	250-903-0	-	210.66	0.5M
D-(+)-スクロース D-(+)-Sucrose	57-50-1	200-334-9	-	342.3	0.4M
エチレンジアミン 4 酢酸 Ethylenediaminetetraacetic acid	60-00-4	200-449-4	2-1263; 2-1296	292.24	1mM
グアニジン塩酸塩 Guanidine hydrochloride	50-01-1	200-002-3	-	95.53	0.75M
L-グルタチオン（酸化型） L-Glutathione (oxidized)	27025-41-8	248-170-7	-	612.63	0.1mM 100%
L-グルタチオン（還元型） L-Glutathione reduced	70-18-8	200-725-4	9-404; 9-1571	307.32	1mM 100%
塩化マグネシウム 6 水和物 Magnesium chloride hexahydrate	7791-18-6	232-094-6	-	203.3	2mM
メス 1 水和物 MES monohydrate	145224-94-8	224-632-3		213.25	0.05M
ポリエチレングリコール 3,350 PEG 3,350	25322-68-3	500-038-2	7-129	-	0.05%w/v
塩化カリウム Potassium chloride	7447-40-7	231-211-8	1-228	74.55	0.4- 10.0mM
アジ化ナトリウム Sodium azide	26628-22-8	247-852-1	1-482	65.01	0.1%w/v
塩化ナトリウム Sodium chloride	7647-14-5	231-598-3	1-236	58.44	9.6-240mM
トリス塩酸塩	1185-53-1	214-684-5	-	157.6	0.05M

TRIS.HCl					
トリトン X-100 Triton X-100	9036-19-5	618-541-1	7-172	-	0.5%w/v

4. 応急措置

一般的な措置	: 医師に相談すること。この安全データシートを医師に見せること。
吸入した場合	: 吸い込んだ場合、新鮮な空気の場所に移す。呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。医師に相談すること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合	: 多量の水で 15 分以上よく洗浄し、医師の診断/手当を受けること。
飲み込んだ場合	: 飲み込んだ後の嘔吐には対応が必要。誤嚥の危険。気道の開放状態を保つこと。嘔吐物の誤嚥後は呼吸不全のおそれ。直ちに医師を呼ぶ。
応急処置をする者の保護	: 個人用保護具を着用すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: もっとも重要な既知の徴候と症状は、項目 2 および項目 1.1 に記載
医師に対する特別な注意事項	: データなし。

5. 火災時の措置

消火剤	: 適切な消火剤 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。 : 使ってはならない消火剤 混合物に対する消火剤の制限なし
特有の危険有害性	: 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。 製品の分解物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。
有害燃焼副産物	: 炭素酸化物 窒素酸化物 塩化水素ガス 硫黄化合物 カルシウム酸化物 マグネシウム酸化物 カリウム酸化物 ナトリウム酸化物 一酸化炭素、二酸化炭素、および未燃焼炭化水素 (煙)。
特有の消火方法	: 火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。

消火を行う者の保護

: 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護

: 保護具を使用する。(項目 8 を参照)

具及び緊急時措置

十分な換気を確保する。

漏出した場所の周囲にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

風上から作業して、風下のヒトを退避させる。

環境に対する注意事項

: 製品を排水施設に流してはならない。

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

: 不活性の吸収材(例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず)で吸収させる。

廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。(項目 13 を参照)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

火気及び爆発に対しての保護事項

: 静電気放電(有機物の蒸気を発火させる場合あり)を防止するために必要な処置をとる。

安全取扱注意事項

: エアゾールの発生を避けること。

蒸気/粉塵を吸い込まない。

ばく露を避ける—使用前に特別指示を受ける。

皮膚や眼への接触を避けること。

個人保護については項目 8 を参照する。

作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。

作業室の換気や排気を十分に行う。

洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。

接触回避

: 皮膚感作性の問題または喘息、アレルギー、慢性または再発性呼吸器疾患のある場合は、この混合物が使われる作業は行わない。

衛生対策

: 皮膚や眼、そして衣類との接触は避ける。

飲食物から遠ざける。

休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。

特に、閉所では十分な換気の確保が必要。

作業服は別に保管する。

皮膚や眼との接触は避ける。
 使用中は飲食及び喫煙を禁止する。

保管

安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
 混触禁止物質 : 強酸化剤、酸化性及び自己発火性製品と共に保存しない。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別ばく露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標（ばく露形態）	管理濃度 / 許容濃度	出典
D-(+)-スクロース D-(+)-Sucrose	57-50-1	TWA	10ppm	ACGIH(TLV)
アジ化ナトリウム Sodium azide	26628-22-8	c	0.29mg/m3	ACGIH(TLV)
		c	0.11mg/m3	ACGIH(TLV)

作業場管理がない場合の危険物質

成分	CAS-No.
塩化カルシウム 2 水和物 Calcium chloride dihydrate	10035-04-8
DL-ジチオトレイトール DL-Dithiothreitol	3483-12-3
DL-アルギニン塩酸塩 DL-Arginine hydrochloride	32042-43-6
エチレンジアミン 4 酢酸 Ethylenediaminetetraacetic acid	60-00-4
Guanidinum 塩酸塩 Guanidine hydrochloride	50-01-1
L-グルタチオン（酸化型） L-Glutathione (oxidized)	27025-41-8
L-グルタチオン（還元型） L-Glutathione reduced	70-18-8
塩化マグネシウム 6 水和物 Magnesium chloride hexahydrate	7791-18-6
メス 1 水和物 MES monohydrate	145224-94-8
ポリエチレングリコール 3,350 PEG 3,350	25322-68-3
塩化カリウム Potassium chloride	7447-40-7
塩化ナトリウム Sodium chloride	7647-14-5
トリス塩酸塩 TRIS.HCl	1185-53-1
トリトン X-100 Triton X-100	9036-19-5

生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的 試料	試料採取時期	許容濃度	出典
データなし。						

保護具

呼吸用保護具	: 蒸気を形成する場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。
手腕用保護具 材質	: 保護手袋。
備考	: 適切な手袋を選ぶには素材のみでなく、その他の品質に関する特徴を考慮する。 製造者によっても違うので、その点にも注意する。 製造者から提供される透過性および破過時間に関する情報、そして特定の作業条件(機械的負荷、接触時間)に注意する。
眼の保護具	: 密着性の高い安全ゴーグル。 プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。 コンタクトレンズは着用しない。 作業場所の近辺に洗眼びんおよび安全シャワーを設けること。
皮膚及び身体の保護具	: 作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。 耐酸性の防護服。 薬品からの保護靴。 労働者は帯電防止靴を着用する必要がある。
衛生対策	: 食べ物や飲み物から遠ざける。休憩前や終業時には手を洗う。特に限られた場所では、十分な換気を確保する。作業服は分けて保管する。皮膚や目への接触を避ける。使用するときは、飲食または喫煙をしない。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 液体。
色	: データなし。
臭い	: データなし。
臭いのしきい(閾)値	: データなし。
pH	: データなし。
融点・凝固点	: データなし。
沸点／沸点範囲	: データなし。
引火点	: データなし。
蒸発速度	: データなし。
燃焼速度	: データなし。

爆発範囲の上限	: データなし。
爆発範囲の下限	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
蒸気密度	: データなし。
比重（密度）	: データなし。
密度	: データなし。
溶解度	
水溶性	: データなし。
溶媒に対する溶解性	: データなし。
n-オクタノール/水分配係数	: データなし。
自然発火温度	: データなし。
分解温度	: データなし。
粘度(粘性率)	
粘度	: データなし。
動粘度	: データなし。
爆発特性	: データなし。
酸化特性	: データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	: 指示通りに保管または塗布した場合は、分解することはない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または塗布した場合は、分解することはない。
危険有害反応可能性	: 推奨保管条件下では安定。 有害な分解生成物は火があるとき生成される。 酸化剤および酸性またはアルカリ製品から隔離する。
避けるべき条件	: データなし。
混触危険物質	: 強酸化剤、強酸剤、強塩基剤。
危険有害な分解生成物	: 指示通りに保管または塗布した場合は、分解することはない。 (項目 5 を参照)

11. 有害性情報

急性毒性

飲み込むと生命に危険。

飲み込むと有害。

皮膚に接触すると生命に危険。

皮膚に接触すると有害。

吸入すると生命に危険。

製品：

急性経口毒性 : データなし。

急性経皮毒性 : データなし。

急性吸入毒性 : データなし。

成分:

塩化カルシウム 2 水和物

Calcium chloride dihydrate :

急性経口毒性 : 2,120mg/kg rat

急性経皮毒性 : >5,000mg/kg rat (ECHA)

急性吸入毒性 : データなし。

DL-ジチオトレイトール DL-Dithiothreitol :

急性経口毒性 : 300-2,000mg/kg rat(OECD 試験ガイドライン 423)

急性経皮毒性 : データなし。

急性吸入毒性 : データなし。

DL-アルギニン塩酸塩

DL-Arginine hydrochloride :

急性経口毒性 : データなし。

急性経皮毒性 : データなし。

急性吸入毒性 : データなし。

D-(+)-スクロース D-(+)-Sucrose :

急性経口毒性 : 29,700mg/kg rat

急性吸入毒性 : データなし。

急性吸入毒性 : データなし。

エチレンジアミン 4 酢酸

Ethylenediaminetetraacetic acid :

急性経口毒性	: 4,500mg/kg rat(OECD 試験ガイドライン 401)
急性経皮毒性	: データなし。
急性吸入毒性	: データなし。

グアニジン塩酸塩

Guanidine hydrochloride :

急性経口毒性	: 773.6mg/kg rat(OECD 試験ガイドライン 401)
急性経皮毒性	: >2,000mg/kg rat(OECD 試験ガイドライン 402)
急性吸入毒性	: 3,181mg/kg rat 4h(OECD 試験ガイドライン 403)

L-グルタチオン（酸化型）

L-Glutathione (oxidized) :

急性経口毒性	: >5,000mg/kg rat
急性経皮毒性	: データなし。
急性吸入毒性	: データなし。

L-グルタチオン（還元型）

L-Glutathione reduced :

急性経口毒性	: >5,000mg/kg rat
急性経皮毒性	: データなし。
急性吸入毒性	: データなし。

塩化マグネシウム 6 水和物

Magnesium chloride hexahydrate :

急性経口毒性	: >5,000mg/kg rat (OECD 試験ガイドライン 423)
急性経皮毒性	: >2,000mg/kg rat (OECD 試験ガイドライン 402)
急性吸入毒性	: データなし。

メス 1 水和物 MES monohydrate :

急性経口毒性	: データなし。
急性経皮毒性	: データなし。
急性吸入毒性	: データなし。

ポリエチレングリコール 3,350

PEG 3,350 :

急性経口毒性	: データなし。
急性経皮毒性	: データなし。
急性吸入毒性	: データなし。

塩化カリウム Potassium chloride :

急性経口毒性	: 3,020mg/kg rat(ECHA)
急性経皮毒性	: データなし。
急性吸入毒性	: データなし。

アジ化ナトリウム Sodium azide :

急性経口毒性	: 27mg/kg rat(RTECS)
急性経皮毒性	: 20mg/kg ウサギ(RTECS)
急性吸入毒性	: 0.054-0.52mg/L 4h 粉塵/ミスト

塩化ナトリウム Sodium chloride :

急性経口毒性	: データなし。
急性経皮毒性	: >10,000mg/kg ウサギ(RTECS)
急性吸入毒性	: データなし。

トリス塩酸塩 TRIS.HCl :

急性経口毒性	: >5,000mg/kg rat(OECD 試験ガイドライン 425)
急性経皮毒性	: >5,000mg/kg rat(OECD 試験ガイドライン 402)
急性吸入毒性	: データなし。

トリトン X-100 Triton X-100 :

急性経口毒性	: 1,900-5,000mg/kg rat(外部 MSDS)
急性経皮毒性	: >3,000mg/kg ウサギ(外部 MSDS)
急性吸入毒性	: データなし。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激。

製品 :

備考 : データなし。

成分:

DL-ジチオトレイトール DL-Dithiothreitol :

皮膚刺激性 ヒト皮膚-1h (OECD 試験ガイドライン 439)

グアニジン塩酸塩

Guanidine hydrochloride :

皮膚刺激性 ウサギ - 24 h

トリトン X-100 Triton X-100 :

刺激性あり ウサギ-4h ((OECD 試験ガイドライン 404)

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性強い眼刺激

重篤な眼の損傷。

強い眼刺激。

製品 :

備考 : データなし。

成分:

塩化カルシウム 2 水和物

Calcium chloride dihydrate :

中程度の眼刺激 (OECD 試験ガイドライン 405)

DL-ジチオトレイトール DL-Dithiothreitol :

重篤な眼の損傷

エチレンジアミン 4 酢酸

Ethylenediaminetetraacetic acid :

眼への刺激 ウサギ (ECHA)

グアニジン塩酸塩

Guanidine hydrochloride :

強い眼刺激 ウサギ

(OECD 試験ガイドライン 405)

トリトン X-100 Triton X-100 :

眼に重症のおそれ。 ウサギ

(ドレイズ試験)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品 :

備考

: データなし。

成分:

データなし。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品 :

備考

: データなし。

成分:

データなし。

発がん性

IAARC

: 0.1%以上でヒト発がん性物質の可能性がある。または、ヒト発がん物質であるとして確認されている物ではない。

L-グルタチオン（酸化型） L-Glutathione (oxidized) :

OSHA

: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

NTP

: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品 :

備考

: データなし。

成分:

トリトン X-100 Triton X-100 :

妊娠動物による過剰摂取からは、母体と胎児の中
毒が生じました。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

呼吸器への刺激のおそれ。

製品 :

備考

: データなし。

成分:

データなし。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害の
おそれ。

製品 :

備考

: データなし。

成分:

アジ化ナトリウム Sodium azide :

長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害。
脳。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品 :

備考 : データなし。

成分:

データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : データなし。

甲殻類毒性 : データなし。

藻類に対する毒性 : データなし。

成分:

塩化カルシウム 2 水和物

Calcium chloride dihydrate :

魚毒性 : LC50:Pimephales promelas: 4,630mg/L -96h

甲殻類毒性 : EC50:Daphnia magna: 2,400mg/L-48h

藻類に対する毒性 : ErC50:Pseudokirchneriella subcapitata: >4,000mg/L-72h

DL-ジチオトレイトール DL-Dithiothreitol :

魚毒性	: データなし。
甲殻類毒性	: EC50:Daphnia magna: 34.8mg/L-48h
藻類に対する毒性	: ErC50:Pseudokirchneriella subcapitata: 24.3mg/L-72h

DL-アルギニン塩酸塩

DL-Arginine hydrochloride :

魚毒性	: データなし。
甲殻類毒性	: データなし。
藻類に対する毒性	: データなし。

エチレンジアミン四酢酸

Ethylenediaminetetraacetic acid :

魚毒性	: LC50:Lepomis macrochirus: 41mg/L -96h
甲殻類毒性	: EC50:Daphnia magna: 625mg/L-48h
藻類に対する毒性	: データなし。

グアニジン塩酸塩

Guanidine hydrochloride :

魚毒性	: データなし。
甲殻類毒性	: EC50:Daphnia magna: 70.2mg/L-48h
藻類に対する毒性	: ErC50:Pseudokirchneriella subcapitata: 33.5mg/L-72h

L-グルタチオン（酸化型）

L-Glutathione (oxidized) :

魚毒性	: データなし。
甲殻類毒性	: データなし。
藻類に対する毒性	: データなし。

L-グルタチオン（還元型）

L-Glutathione reduced :

魚毒性	: データなし。
甲殻類毒性	: データなし。

藻類に対する毒性 : データなし。

塩化マグネシウム 6 水和物

Magnesium chloride hexahydrate :

魚毒性 : LC50:Pimephales promelas: 2,119.3mg/L -96h

甲殻類毒性 : EC50:Daphnia magna: 548.4mg/L-48h

藻類に対する毒性 : ErC50:Desmodesmus subspicatus: >100mg/L-72h

メス 1 水和物 MES monohydrate :

魚毒性 : データなし。

甲殻類毒性 : データなし。

藻類に対する毒性 : データなし。

ポリエチレングリコール 3,350 PEG 3,350 :

魚毒性 : データなし。

甲殻類毒性 : データなし。

藻類に対する毒性 : データなし。

塩化カリウム Potassium chloride :

魚毒性 : LC50:Pimephales promelas: 880mg/L -96h

甲殻類毒性 : EC50:Daphnia magna: 440-880mg/L-48h

藻類に対する毒性 : ErC50:Desmodesmus subspicatus: >100mg/L-72h

アジ化ナトリウム Sodium azide :

魚毒性 : LC50:Oncorhynchus mykiss: 2.75mg/L -96h

甲殻類毒性 : データなし。

藻類に対する毒性 : ErC50:Pseudokirchneriella subcapitata: 0.35mg/L-72h

塩化ナトリウム Sodium chloride :

魚毒性 : LC50:Lepomis macrochirus: 5,840mg/L -96h

甲殻類毒性 : EC50:Daphnia magna: 874mg/L-48h

藻類に対する毒性 : ErC50:Nitzschia sp.: 2,430mg/L-120h

トリス塩酸塩 TRIS.HCl :

魚毒性 : LC50:Leuciscus idus: 460mg/L -48h
甲殻類毒性 : EC50:Daphnia magna: >117mg/L-48h
藻類に対する毒性 : データなし。

トリトン X-100 Triton X-100 :

魚毒性 : LC50:Leuciscus idus: 0.26mg/L -48h
甲殻類毒性 : EC50:Daphnia magna: 0.011mg/L-48h
藻類に対する毒性 : ErC50:Pseudokirchneriella subcapitata: 1.9mg/L-72h

13. 有害性情報

廃棄方法

残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さない。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。
地域および国の規制を遵守して、危険有害廃棄物として廃棄する。

汚染容器及び包装

: 製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意

	陸上輸送 (ADR/RID)	航空輸送 (IATA-DGR)	海上輸送 (IMDG-Code)
国連番号	: 3082	: 3082	: 3082
国連分類 (Class)	: 9	: 9	: 9
容器等級 (Packing group)	: II	: II	: II
分類 (日本語名)	環境有害物質 (液体)	環境有害物質 (液体)	環境有害物質 (液体)
海洋汚染物質(該当・非該当)(Marine pollutant)			: 該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)

供給された状態の製品には不適用。

15. 国内適用法令

消防法	: アジ化ナトリウム (Sodium azide) CAS 26628-22-8 (第 5 類 自己反応性物質) トリトン X-100 (Triton X-100) CAS 9036-19-5 (指定可燃物 可燃性液体類)
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: アジ化ナトリウム (Sodium azide)
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 5 7 条の 2 施行令第 1 8 条)	CAS 26628-22-8 (別表第 9 9)
名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 5 7 条の 2 施行令第 1 8 条)	
化学物質管理促進法	: エチレンジアミン四酢酸 (Ethylenediaminetetraacetic acid) CAS 60-00-4 (60) トリトン X-100 (Triton X-100) CAS 9036-19-5 (461)
特定化学物質障害予防規則	: 非該当
有機溶剤中毒予防規則	: 非該当
アルコール事業法	: 非該当
麻薬向精神薬原料	: 非該当
がん原性に関わる指針対象物質	: 非該当
強い変異原性が認められた化学物質	: 非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: アジ化ナトリウム (Sodium azide) CAS 26628-22-8 (1812/6.1/Ⅲ 毒物) トリトン X-100 (Triton X-100) CAS 9036-19-5 (3082/9/Ⅲ 有害性物質)
航空法	: アジ化ナトリウム (Sodium azide) CAS 26628-22-8 (1812/6.1/Ⅲ 毒物) トリトン X-100 (Triton X-100) CAS 9036-19-5 (3082/9/Ⅲ 有害性物質)
水質汚濁防止法	: 非該当
輸出貿易管理法	: 非該当

16. その他の情報

引用、参考情報等：

ASTM - 米国材料試験協会;

NITE- 製品評価技術基盤機構(日本);

ISHL - 労働安全衛生法 (日本);

RTECS- Registry of Toxic Effects of Chemical Substances

中央労働災害防止協会- GHS モデル SDS 情報

IARC - 国際がん研究機関;

IATA - 国際航空運送協会;

IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則;

ICAO - 国際民間航空機関;

IMDG - 国際海上危険物規程;

IMO - 国際海事機関;

ISO - 国際標準化機構;

MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約;

OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局;

PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質);

REACH - 化学物質の登録、評価認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006;

UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告;

TSCA - 有害物質規制法(米国);

リファレンス・データ情報源

sigma-aldrich.com

fishersci.co.uk

anatrace.com

責任の限定について

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。

また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。